東北地方

名前

問1　東北地方の太平洋側に位置する仙台市の気候の特徴について、気温と降水量の統計的な傾向を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。なお、仙台市では1月の平均気温が5℃を下回り、7月の平均気温は23℃から25℃程度、7月の降水量は200mm程度となります。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 一年を通じて降水量が非常に少なく、特に冬の冷え込みが厳しいため、1月の気温が氷点下10℃を下回る。
2. 梅雨や台風の影響をほとんど受けないため、夏から秋にかけても降水量は増えず、年間を通じて一定である。
3. 夏から秋にかけて降水量が増加する一方で、冬は乾燥して晴天の日が多く、降水量が少ない。
4. 冬は北西の季節風の影響で雪が非常に多く降り、夏はフェーン現象によって連日35℃を超える。

問2　宮城県の東方沖をはじめとする太平洋の海域では、北から南下してくる親潮（千島海流）と、南から北上してくる黒潮（日本海流）がぶつかり合います。プランクトンが豊富に発生し、多種多様な魚が集まることで好漁場の条件となっている、このような海流の境界を何と呼びますか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. 大陸棚
2. 排他的経済水域
3. 潮目
4. バンク

問3　三内丸山遺跡周辺の土地利用の変化について、1980年代後半と2020年代の状況を比較した記述として、地理的・歴史的な背景から考察して最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。
2. 遺跡の西側を流れる河川を大規模に埋め立て、国際的な貿易港が建設された。
3. 遺跡の全域が工業地域として再開発され、かつての集落跡はすべてコンクリートで覆われた。
4. 周辺の農地がすべて宅地造成され、遺跡は大規模な新興住宅団地の中に埋没した。

問4　東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。（2022年 京都府公立入試 類似）

1. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。
2. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。
3. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。
4. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。

問5　東北地方の各県を比較した統計において、人口増減率がマイナス0.6%以上という、地域内で最も減少が緩やかな区分に属し、かつ製造品出荷額が東北地方全体の合計値（約17兆5260億円）の約25%にあたる約4兆3805億円を占めている県はどこですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 宮城県
2. 岩手県
3. 青森県
4. 福島県

問6　東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。
2. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。
3. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くなだらかな高原状の地形である。
4. 奥羽山脈は標高が低くなだらかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。

問7　三陸海岸から宮城県沖にかけての海域は、世界的な漁場として知られています。この海域において、プランクトンが豊富で多くの魚が集まる理由について、海流の性質に着目して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. 赤道付近から北上してくる暖流の黒潮のみが強く流れ込み、年間を通じて水温が非常に高く保たれるため。
2. リアス海岸による複雑な入り江が、外海からの強い潮流を遮り、魚の産卵や稚魚の成長に適しているため。
3. 北からの寒流である親潮と、南からの暖流である黒潮がぶつかり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため。
4. 水深200メートルまでの浅い平坦な地形が広がり、日光が海底まで届くことで光合成が盛んに行われるため。

問8　東北地方に位置し、鉄道営業距離が約642kmに及ぶ宮城県の交通と都市の様子について述べた文として、最も適当なものを次の中から選びなさい。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 県内の鉄道は南北方向にのみ敷設されており、西側に位置する奥羽山脈を越えて山形県などの隣県へ向かう路線は存在しない。
2. 県庁所在地のターミナル駅はバスの乗り入れが制限されており、中心市街地の移動は路面電車が唯一の手段となっている。
3. 1982年に東北新幹線が開通したが、県内には新幹線の駅が1つしか設置されておらず、主に各駅停車が中心の輸送体系となっている。
4. 県庁所在地の仙台市は人口100万人を超える政令指定都市であり、市街地には地下鉄が走り、豊かな街路樹が見られる。

問9　夏の東北地方で「やませ」が発生し、稲の不作などの冷害が引き起こされる要因として、風の性質と発生源の説明を組み合わせたものとして正しいものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. シベリア高気圧から吹き出す、冷たく乾燥した風であるため
2. オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため
3. 山を越えて太平洋側に吹き降ろす、高温で乾燥した風であるため
4. 小笠原高気圧から吹き出す、暖かく湿った風であるため

問10　江戸時代に河村瑞賢によって整備された「西廻り航路」が、当時の東北地方の物流や社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。
2. 最上川の下流から上流に向けて物資を運ぶ技術が向上したことで、内陸部の米を直接太平洋側の仙台へと運ぶ主要ルートとなった。
3. 外国船との貿易を目的とした航路として整備され、酒田港は清やオランダとの取引を行う国際貿易港として発展した。
4. 太平洋側の沿岸部を航行し、房総半島を回って直接江戸へ物資を運ぶことが可能になったため、東北の内陸開発が進んだ。

問11　日本海側を流れる河川の月別平均流量を調査したところ、九月から十月にかけて流量が増える河川がある一方で、別の河川では四月の流量が一千立方メートルを超え、冬場と比較して突出して多いという特徴が見られました。この、四月に流量が最大となる理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2017年 兵庫県公立入試 類似）

1. 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため
2. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、四月の日本海側に大量の雨をもたらすため
3. 梅雨前線が北上し、東北地方の日本海側で長期間の激しい降雨が続く時期にあたるため
4. 春に発生する急速に発達した低気圧により、海から大量の海水が河川へ逆流するため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 夏から秋にかけて降水量が増加する一方で、冬は乾燥して晴天の日が多く、降水量が少ない。	仙台市は太平洋側の気候に属しており、夏は湿った季節風や梅雨、台風の影響を受けて降水量が多くなります。一方で、冬は奥羽山脈が季節風を遮るため、日本海側とは対照的に晴天の日が多く、降水量が少なくなるのが特徴です。1月の気温が5℃弱、7月が23℃～25℃程度というデータは、東北地方の中では比較的温暖ながらも、夏がそれほど酷暑にならない仙台の特色を示しています。
問2	答え 3 潮目	寒流である親潮と暖流である黒潮がぶつかる境界付近は「潮目（潮境）」と呼ばれます。異なる性質の海水が混ざり合うことで海中の栄養分が巻き上げられ、プランクトンが大量に発生するため、それを餌とする魚類が多く集まる世界的な好漁場となります。
問3	答え 1 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。	青森市の三内丸山遺跡周辺は、1980年代後半から2020年代にかけて、東北新幹線の延伸という大きなインフラ整備の影響を受けました。地形図の変化をたどると、遺跡の西側に位置していた未開発の平地に新しい鉄道の線路記号が描かれるようになっています。これは、新幹線の開通によって青森県と他の都県を結ぶ移動時間が短縮され、観光客の増加や地域経済の活性化に寄与する交通結節点としての役割が強化されたことを示しています。
問4	答え 1 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問5	答え 1 宮城県	宮城県は、東北地方の中で人口減少率が最も低く、県庁所在地の仙台市を中心に人口が集中する傾向があります。また、工業面でも東北全体の製造品出荷額の約4分の1を占めるなど、同地方における経済や産業の中心的な役割を担っています。
問6	答え 3 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くなだらかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってなだらかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問7	答え 3 北からの寒流である親潮と、南からの暖流である黒潮がぶつかり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため。	東北地方の太平洋沖では、栄養分や酸素を多く含む親潮（寒流）と、暖かい海水を運ぶ黒潮（暖流）が合流します。この「潮目」では、海水の対流によって海底の栄養分が海面近くまで運ばれ、プランクトンが爆発的に増殖します。これにより、寒流系と暖流系の両方の魚が捕れるため、三陸沖は世界三大漁場の一つに数えられています。
問8	答え 4 県庁所在地の仙台市は人口100万人を超える政令指定都市であり、市街地には地下鉄が走り、豊かな街路樹が見られる。	宮城県の県庁所在地である仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、約109万人の人口を抱えています。交通面では、1982年に開通した東北新幹線の駅が県内に4駅設置されているほか、仙台市内には地下鉄も整備されています。また、美しい街路樹が立ち並ぶ景観から「杜の都」とも称される都市の特徴を持っています。
問9	答え 2 オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため	やませは、北に位置するオホーツク海高気圧が発達した際に、その縁から太平洋側へ吹き出す北東の風です。海からの湿気と冷たさを蓄えた状態で流れ込むため、東北地方の太平洋側で気温が上がらなくなり、日照時間も減少することで冷害が発生します。シベリア高気圧は冬の季節風の、小笠原高気圧は夏の蒸し暑さの源となる気圧配置です。
問10	答え 1 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。	西廻り航路の整備により、東北地方の日本海側の物資（特に米）が、北陸・瀬戸内海を経由して経済の中心地である大阪へ安全かつ大量に運ばれるようになりました。この物流の要所となった酒田港（現在の山形県酒田市）は、「西の堺、東の酒田」と称されるほど商業的に大きな発展を遂げました。太平洋側を通るルートは東廻り航路と呼ばれます。
問11	答え 1 冬の間に降り積もった大量の雪が、春の気温上昇によって解けて河川に流れ込むため	日本海側の地域は、冬の季節風の影響で世界有数の豪雪地帯となります。冬の間に山地などに降り積もった雪は、春の訪れとともに気温が上がると解け出し、河川へと流れ込みます。この「融雪」と呼ばれる現象により、日本海側の河川では四月頃の流量が一年の中で最も多くなるという特徴があります。これに対し、太平洋側の河川などは九月から十月の台風の影響で流量が増える傾向にあります。